

Inabeな人々

GCI 連動企画

いなべで自らの暮らしを
生み出す人々を紹介します。



大安中学校吹奏楽部

コンクールで度々好成績を残し、演奏会活動も活発に行う大安中学校吹奏楽部。しかし、コロナ禍でコンクールや演奏会が、今年はすべて中止になっていた。

引退を控えた3年生は、8月が現メンバーで演奏する最後のチャンス。何とか晴れの舞台を用意したい」と、学校、保護者、市、グリーンクリエイティブいなべ事務局が協力し、3密を回避しやすい野外演奏会がにぎわいの森で実現した。

演奏者の想い

副部長の吉田奏子さんは、評価されることが少なくなり演奏の質を保つ難しさを感じた。「コロナがなければもっとうまくできたと思います。でも、いまこの状況でできることをしました」

悔いがにじむ。1カ月に満たない練習期間、必死に音楽を作り上げようとしたのだろう。

もう一人の副部長、松宮伊澄さんは、入部した当時は振り返った。「音楽も楽器も分からなかった。部活を続け音楽を理解して、音楽を通してお客さんと話ができると思った」

「3年間いろいろなことがあった。」

けんかをすることもあったけど乗り越えられた」と、コンサートマスターの森愛菜さん。「後輩たちには音楽の楽しさを知り、礼儀作法にも気を付けて、大安中学校吹奏楽部らしい、良い部活にしてほしい」と、仲間これからを託す、潔い決意を語る。

部長の山北みおさんは、今年は部としてできることが少なくなり、活動を支える皆さんに感謝の気持ちを伝える場がなくなったことを辛く感じていたそう。「今回の演奏会で伝えることができた。私たちの活動を支えてくれるすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです」

30分の演奏を終え、盛大な拍手を受けると、部員たちは笑顔を輝かせた。そう、大安中学校吹奏楽部にとって、演奏会は単に曲を披露するだけではなく、音楽の楽しさ、仲間との時間、自分たちの成長を支えてくれた多くの人に、感謝を届けるためにある。

いなべが育んだ音色がこれからも引き継がれ、響いていくだろう。

当日の演奏が聴けます！



1. 演奏が終了し、緊張から解放され笑顔を見せる 2,3. 今までの練習の成果を全力で披露。「明日はきっといい日になる」などを演奏 4. 演奏に合わせてメッセージを伝える 5. 吹奏楽部を支えた部長・副部長・コンサートマスター



生活情報
「まいめる」



携帯用
「モバイルサイト」

救急医療情報

- 三重県救急医療情報センター ☎ 059-229-1199
- いなべ医師会(在宅当番医) 📞 <http://inabe-med.or.jp/>
- 医療ネットみえ 📞 <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

人口情報(令和2年10月1日現在)

総人口: 45,422 (-81)
世帯: 18,671 (-35)
男: 23,263 (-57) 女: 22,159 (-24)

